

「未来高岡」ステップアップトーク（下関地区）会議記録 ＜要旨＞

1、日 時 平成 28 年 9 月 10 日（土） 午前 10 時 00 分から 11 時 00 分

2、場 所 下関公民館

3、出席者 市民 31 名（うち女性 6 名）

高岡市 市長、経営企画部政策監、広報統計課長

4、会議次第

(1) 高岡市総合計画基本構想の紹介

(2) 参加者との意見交換

.....

(1) 高岡市総合計画基本構想の紹介

(2) 参加者との意見交換

参加者

- ・ 下関公民館は災害時の避難場所になっているが、駐車場が狭いため利用しづらい。周辺に 3 つの公園があるので、いずれかの公園と敷地を交換し避難施設をつくれればどうか。

市長

- ・ 将来的に公共施設をどのように維持していくか改めて考える時期にきている。今後、各公民館の点検をしていきたいと思っており、現在、公民館の実態を整理しているところである。施設をできるだけ長く利用できるよう各公民館に合った対応をしていきたい。

参加者

- ・ 下関校区では平成 23 年度に総合防災訓練が実施されているが、その後、訓練が行われていないのではないか。仮に平成 30 年度に下関校区で実施すると考えると、7～8 年に 1 度のペースである。自治会役員の交代の時期などを考慮すると、少なくとも 4 年に 1 度は実施してほしい。

市長

- ・ 総合防災訓練は、広域的にいくつかの校区で一斉に訓練を実施することとしており、各校区では概ね 5 年に 1 度のペースで実施できるように努力している。校区単位での訓練がより効果的であり、状況に応じた対応ができるよう訓練していくことが重要である。今後も工夫しながら、できるだけ頻繁に広域的な訓練を行っていきたい。

参加者

- ・新高岡駅では、10 分に 1 回程度バスが通るが、新高岡駅で降車する人は少ないのではないかと。新高岡駅を経由するだけでなく、そこで降車してもらう工夫が必要だと感じており、高岡駅周辺においても同様だが、新高岡駅周辺のまちづくり構想が必要ではないかと。愛知県名古屋市中区の大須は、以前、人が少なく寂しくなっていたが、現在は電気街や大須観音に若者や観光客がたくさん集まり賑わいができている。高齢化社会の中で、そのような例を参考にしながら賑わいづくりの構想をつくり、下関地区の活性化にもつなげてほしい。

市長

- ・まちづくりを進めていく中で、高岡駅と新高岡駅間の整備は大きな課題であり、まちの中心が高岡駅の南側に移ってきていることも認識している。
高岡駅周辺に低未利用地があることも課題として捉えており、その土地を利用して新たな看護専門学校を建設するなどして都市機能の集約を図ろうとしている。また、末広町では民間による再開発で店舗兼マンションが建設されるとのことである。新高岡駅周辺についても、駅からスポーツコアの間を商業地区として開発できるようにしており、店舗もいくつかできたほか、瑞龍寺のそばには門前町の雰囲気をもったお店もできてきている。また、地元の方々のご尽力もあって今年で 50 回目を迎えた「八丁道おもしろ市」も出店者が増えている。瑞龍寺の周辺に、このような集積が進めば下関地区の 1 つの核になるのではないかと。居住環境もよく、瑞龍寺の周辺に観光地としての店舗を誘導していきながら今後のまちの方向性を考えていきたい。